

# mmc NEWS

MEIDAI MASS-COMMUNICATION CLUB

発行 明治大学マスコミクラブ  
〒101-8301  
東京都千代田区神田駿河台1-1  
明治大学広報課内 MMC事務局  
電話 03-3296-4082  
FAX 03-3296-4087  
e-mail : mmc@meiji-mmc.sakura.ne.jp  
URL : www.meiji-mmc.com  
発行人 本村 隆  
編集 馬渕 豊・梶野 雅秀

明治大学マスコミクラブ(MMC)の第16回定例総会が1月26日、東京・日比谷の日本記者クラブで開かれ、平成27年度の理事・役員の事務局案が総会出席者(委任状を含む)の全会一致で承認可決されました。新たに役員になられた方々の抱負を紹介します。(卒年順)

新規 MMC会員を拝見しました。何卒よろしくお願いします。



校條 真 1984・政経  
風讃社「ナビグラ神保町」編集長

本年度総会にてMMC副会長を拝見しました。共同テレビジョンの大林龍彦です。マスコミ就職セミナーを12年、マスコミ講座を都合7年担当してきました。



大林龍彦 1978・政経  
共同テレビジョンチーフプロデューサー

t w i t t e r の「大学NETA」で、「明大生のtwitterのプロフィールに『早大落ち』と書かれていることがある」というのを発見。私を除いて、たしかに大部分の学生諸君はそうかも知れないが、卒業する頃には「やつぱり明治が1!」と思えるような学生時代を送つてほしい。早慶



隈元浩彦 1985・政経  
毎日新聞社 編集委員

引き続き一人でも多くの学生をマスコミに送り込み新規MMC会員を増やしていくべきだと思いますので、何卒よろしくお願ひします。



平石浩章 1985・法  
日テレックスオンライン役員スポーツセンター長

会社人生30年の今年、4年ぶりにスポーツ職場に復帰しました。私の抱負は多くの明大生にマスコミ業界に入って頂く事に加え、明大出身のスポーツ選手を応援する事であります。日の丸を背負う明大OB選手は結構多いのです。(ロンドン五輪出場選手中、明大OBは早大につぐ4位) 頑張れ! 我が明治!



林 浩史 1990・文  
十勝毎日新聞社 代表取締役社長

思っています。



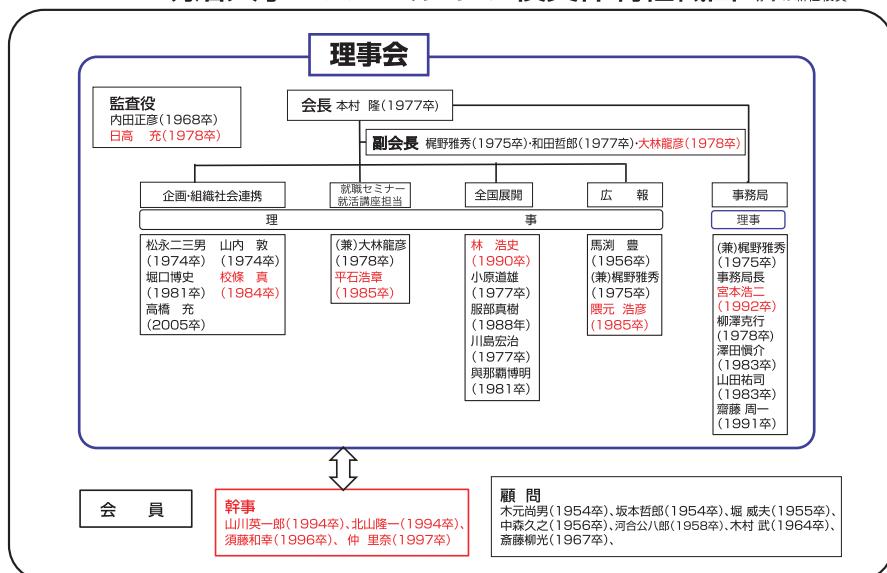
服部真樹 1988・政経  
日本経済新聞社 大阪本社 記者

ズムと思いつつも、明大の名前を新聞などで見聞きます。余計な鎧がまた一つ、取り外せました。ご指導のほどお願ひします。

MMCが新世代へのバトンタッチ元年を掲げたこの時期に全国展開担当理事役を仰せつかりました。若輩者のため諸先輩方にご迷惑をおかけいたしますが、MMCの活性化には、若い力が必要です。自らが若手のリーダーとして、明るく楽しく盛り上げていきます。どうぞ、よろしくお願い致します。

## MMC明治大学マスコミクラブ役員体制組織図

順不同・敬称略  
赤字は新任役員



宮本浩二 1992・政経  
地域新聞社 常務取締役

今、事務局長という大役を仰せつかりました。若

MMCが新世代へのバトンタッチ元年を掲げたこの時期に全国展開担当理事役を仰せつかりました。若輩者のため諸先輩方にご迷惑をおかけいたしますが、MMCの活性化には、若い力が必要です。自らが若手のリーダーとして、明るく楽しく盛り上げていきます。どうぞ、よろしくお願い致します。

MMCが新世代へのバトンタッチ元年を掲げたこの時期に全国展開担当理事役を仰せつかりました。若輩者のため諸先輩方にご迷惑をおかけいたしますが、MMCの活性化には、若い力が必要です。自らが若手のリーダーとして、明るく楽しく盛り上げていきます。どうぞ、よろしくお願い致します。

MMCが新世代へのバトンタッチ元年を掲げたこの時期に全国展開担当理事役を仰せつかりました。若輩者のため諸先輩方にご迷惑をおかけいたしますが、MMCの活性化には、若い力が必要です。自らが若手のリーダーとして、明るく楽しく盛り上げていきます。どうぞ、よろしくお願い致します。



## MMC会長、二期目へ向けて

MMC会長 本村 隆

今年一月に開かれた新年会で三期目の会長を仰せつかりました。今年の活動方針は、「新しい世代へのバトンタッチ元年とする」というもので、文字どおり世代交代に向けて準備を始めようと考えています。

先日、友好団体の建設・不動産駿台会の総会と全国紫明クラブの二十周年記念総会にそれぞれ来賓として出席してきました。両クラブとは十年近い交流を続けています。両クラブの活動は盛んで、講演会や専門分野の研究会活動をはじめとし、正月の駅伝やラグビーの応援、そして野球や

人たちが生き生きと活動しているのが実に印象的で、MMCとしてもぜひ見習いたいとの意を強くしました。

私どもMMCも今回の理事の改選で若い世代の方々

に理事や幹事といったポストでMMCの活動に加わってもらうことにいたしました。これまでの活動に新しい血を入れることで、より活性化するのではないかという期待を込めての改選です。そうしたところ、新しい企画がこの春から早くも出てきています。

その一つが六大学野球の応援企画です。私も大学卒業以来久しぶりに神宮球場の学生内野の隣の内野席で対戦東大戦の応援に声を枯らしました。今年度から新しく理事になつた校條さんが

大の野球好きで、MMCでも是非明大野球部を応援に行こうと企画したものであります。この日はたまたま春のリーグ戦の開幕試合でしたので、その前に行われる六大学野球の開会式というのを初めて見ることができました。恥ずかしながら優勝カップが実は天皇杯であることも初めて知りました。

また、戦時中は敵性スポーツということで禁止されることも初めて知りました。



2015年 MMC新年総会・懇親会(1月26日・日本記者クラブ)

んどん発信していきたいと思います。会員の皆様には時間の許す限り、積極的な参加をお願いいたします。そして、こんなことをやつたらどうだろうというアイデアが閃きましたら、是非理事や幹事の方々にお伝えください。実現に向けて一緒に汗をかいていきたいと思います。

明治大学では2007年から、年2・3回のペースで「マスコミ交流会」を開催している。これは本学関係者とマスコミ関係者や教育業界関係者との交流や情報交換を目的としている。そして、その後もマスコミ関係者（特に記者）との関係を深め、パブリシティを強化している。

この交流会では、大学の教育、研究や社会で話題となっている事象をテーマにしている。当初の目的は、本学の最新情報を発信することであり、マスコミ関係者に本学の「今」を知っていたらことにあつた。そして、メディアに取り上げていただくことで、本学のブランド向上に資していくことを意識していた。記念すべき第1回は、明治大学の最新トピックスである「明治大学の就職状況について」と「新学部創設・国際日本学部について」の2つ



## 明治大学のマスコミ交流会と情報発信

明治大学 経営企画部 広報課長 中山 真一

現在までに21回の交流会を開催してきた。この間、面識を得た記者との関係で、新聞等で記事として取り上げていただきたり、大学主催のイベントへの企画協力や協賛にも発展したりしている。

この間、本学は「大学ブランドランディング」で6年連続1位に輝き、「入学試験志願者数」は2007年から9年連続で10万人を超えて、2010年から2013年まで4年連続1位となるなど、社会的な評価は年を追うごとに高まっています。それも、「マスコミ交流会」を通じて、本学の情報発信力が社会で認知されてきたことが大きな要因だつたと認識している。

ただ、このような交流会をされてきたことが大きな要因だつたと認識している。そこで、このような交流会を実施する予定である。  
（京都大学・明治大学共催）

今後も本学が今以上に情報発信力を高めていくには、他大学に例のない新たな施策を考えていかなければならぬ。そのためには、本学が所有している教育、研究、スポーツ、文化及び芸能などあらゆる分野での情報発信をしていくことである。

MMC会員の皆様には、今後も本学の広報活動に対しご協力をたまわりたいと願っている。

リレーエッセイ 北から南から  
小さなラジオ局の大きな志

浜松エフエム放送(株) 相談役 (1962年商学部卒)

外山義孝



地元ケーブルテレビのパーソナリティとして活躍していた、明大商学部平成15年卒業の岡本麻里さん(写真左)と一緒に。昨年7月から当社の番組を担当し、主婦の視線から掘り下げる放送が好評でうれしい限りである。

「JOZZ 6ABFM」こちらは浜松エフエム放送です。周波数76・1メガヘルツ、出力1Wで浜松市田町のスタジオから本放送を開始します」。1994年5月15日正午。果たしてどの程度の人が耳を傾けたのかは分からぬが、私の声が浜松市内のラジオ局に届いたのは事実。1962年に大学を卒業、在籍していた社員から「ラジオ局の世界に舞い戻った瞬間でもあつた」。

そもそもの2話しの始まりは1992年1月「市区町村の一部の地域において、地域に密着した情報を提供するため」としてコミュニケーション放送局という制度が施行されたことによ

る。西部地区の中心浜松をサービスエリアとするラジオ局があつてもいいではないかという声が、地元経済界の人達から声が上がつた。以前から会社内では設立を働きかけていた成り行きもあつて、自分もこの計画に関わることになった。

それから21年が過ぎた。本社は中心街の利便性のあるビルに移転。出力も規制緩和で20Wに増力され、インフラ面では、開局当初に比し隔世の感がある。しかしコミュニティ放送局は県域放送と異なり、多くの工夫が求められる。放送エリアが狭いため、スポーツを中心に一年間の調査・検討を経て、1992年2月にコミュニティ放送局の設立を決定、具体的な準備に入つた。発起人は全て社業を持つ経営者、結局私が専従者として出向することになつた。出資者は地元のそつそつ経営者、神経をすり減らしながらの作業だつたが、本を買ひ込んだりしながらの勉強でなんとかながらの懇親会でなんとか新会社設立にこぎつけた。社長は地元で知られた経営

者、私は常務となりスターーとした。放送局としては、放送法や電波関係法令の適用が条件。しかし金はかけられない。スタジオは会社の楽器専用の防音室を改装、放送機器は民生用の改造も含めて仕上げた。郵政省より「予備免許」「本免許」が交付され、併行して社員、パーソナリティの採用を行い、5月15日全国で7局目のコミュニティ放送局として運用を開始した。しかし出力は1Wの制限で、放送は市内の一部しか聴こえず、営業的には苦難の連続だった。

来られなくなつた時などは急遽スタジオに飛び込む。当社では、地域密着が基本姿勢。5月の「浜松まつり」では三日間まつり漬けの中継となり、地元のサッカー」「リーグチームの中継をして中継している。「ジユビロ磐田」の試合では全国を走り回り、全42試合を全て中継している。ラグビーヤマハ発動機チームもしかり。また今年も東京ドームで開幕する「都市対抗野球大会」には「ヤマハ野球部」の中継に繰り込み、応援の放送を地元に送

る。コミュニケーション放送業界も、今年6月で280局あまりとなつた。前述のように燃えて頑張っている。な経営課題を抱えながらも、地域密着の理念と災害時の情報機関としての使命感に燃えて頑張っている。

さて私の話に戻るが、最後の3年半ほど社長を務め、無事昨年春に後輩にバトンタッチすることができた。自分としては設立準備から20年以上全力でやり抜いたという満足感に浸つている昨今である。

というわけで、服部は元気です。関西の校友会とMMCの相互乗り入れも少しずつ進めていきますのでよろしくお願いします。仕事を絶好調です。

## 大阪発!! 単身赴任は毎日が修学旅行状態!

日経新聞社(1983年政経学部卒)

服部真樹



大阪に単身赴任して2年ちょっとになります。この間、「プライベートのベースにしたのが大阪の校友会と、陶芸家の武内裕さんが幹事長を務める京都の校友会、それと関西千葉県人会です。この3つの集まりに参加していると不思議と單身赴任の寂しさを感じません。よくよく考えてみれば

大阪の校友会など、月2回程度は「明治大学・千葉県にどっぷり」という気持ちで、いかに固定費を低く抑えることができるかが、決め手になる。常勤者はわずか数人、営業職も収録やミキサー操作する。総務も番組手配などあらゆることのフォローをする。私もね勘定、スポンサー回りなどしながら、イベント回りの人員輸送、また台風来襲時や予定のゲストが提供了るため」としてコ

生野には志村喬記念館があります。一度もお会いしない妻の大祖父ですが、関西にいると彼に守られていました。自分としては設立準備から20年以上全力でやり抜いたという満足感に浸つている昨今である。

「大人の修学旅行」をなさりたい方はぜひご連絡を。MMCの相互乗り入れも少し進めていきますのでよろしくお願いします。仕事を絶好調です。

「大人の修学旅行」をなさりたい方はぜひご連絡を。MMCの相互乗り入れも少し進めていきますのでよろしくお願いします。仕事を絶好調です。

というわけで、服部は元気です。関西の校友会とMMCの相互乗り入れも少し進めていきますのでよろしくお願いします。仕事を絶好調です。

大阪の校友会など、月2回程度は「明治大学・千葉県にどっぷり」という気持ちで、いかに固定費を低く抑えることができるかが、決め手になる。常勤者はわずか数人、営業職も収録やミキサー操作する。総務も番組手配などあらゆることのフォローをする。私もね勘定、スポンサー回りなどしながら、イベント回りの人員輸送、また台風来襲時や予定のゲストが提供了るため」としてコ



## 2015年新年総会・懇親会開催

### 新企画、六大学野球観戦



スタートで、本年を「新しい世代への「バトンタッチ元年」とする」ことを確認しました。

懇親会には、日高憲三理事長をはじめとする大学幹部、友好関係にあるOB会の方々が来臨、盛り上がりました。

記念講演には、体育会競走部部長として20年間にわたって明治大駅伝チームを率いてこられた松本穰商学部教授（3月退職）をお迎えしました。

（不屈の精神こそ明大の伝統）という松本氏のお話は、母校に思いを馳せる参加者一人ひとりの胸に深く染み渡りました。

限元浩彦（85年・政経）

今年度新イベントの第1弾「六大学野球観戦」がスタート。記念すべき第1回の東大戦。圧勝と思いきやまさかの苦戦で薄氷を踏む思いの1勝。続く2回目は5月2日、「血の明法戦」と謳われた気合の一戦。こ

ちらは残念ながらサヨナラで負けましたが、チアリーダーや学生たちと一緒に明大魂が揺さぶられました。参加者はまだ少ないのに明大魂が揺さぶられました。秋には是非皆さん、学生席での母校応援で熱き心をぶつけに来てください。

梶野雅秀（73年・法）

5月2日、「血の明法戦」と謳われた気合の一戦。こちらは残念ながらサヨナラで負けましたが、チアリーダーや学生たちと一緒に明大魂が揺さぶられました。秋には是非皆さん、学生席での母校応援で熱き心をぶつけに来てください。

梶野雅秀（73年・法）

6月9、16、19日の3日間に渡つて開催されました。一回目は「内定童貞」の著者中川淳一郎氏にユニーカで破天荒な就活メソッドを語つていただきました。二回目はNHKディレクター渡部玲氏、日本テレビ営業局酒井杏奈氏、フジテレビ報道部ディレクター小杉基氏、電通グローバルアカウンタープロデュース部部長岸貴義氏の4名に登壇していただきました。この日は120名以上の参加者。三回目はダイヤモンド社第4編集部編集長江英明氏の登場です。90分にわたり、たっぷり面接のノウハウを語つていただきました。

江英明氏の登場です。90分にわたり、たっぷり面接のノウハウを語つていただきました。横無尽の体制と3期会長胸を張る「MMC」の座右の銘は「傲慢なるべからず」だったそうです。それはまた、三木、村山の両氏のみならず、明大にゆかりあるすべての人たちに重なっているようです。（限元浩彦）

「経験とは、それが必要でなくなったとき活かされる」は、マーフィーの法則。ユーモアたっぷりだが概に否定できないからおもしろい伝統は大事だ。しかしそれに縛られない若手の発想が会を飛躍させる。脈々と息づく明大魂を継承しつつMMC新役員陣期待大。（梶野雅秀）

（編集後記）

△首相として戦争終結に導いた

鈴木貫太郎。この国が危急存亡の

秋にあって、鈴木がその地位にあつたことは、まことに天の配剤だった

と評する史家が多いようです。戦

後2人の明治D.O.Bが首相の座に

就きました。三木武夫、村山富市

の両氏です。三木氏は国民の政治

不信が極に達したときに登場し、

村山氏は阪神大震災、オウム事件

が起きました。三木氏は国民の政治

不信が極に達したときに登場し、

村山氏は阪神大震災、オウム事件

が起きました。三木氏は国民の政治